社会システム研究所

Institute of Social Systems

びわこ・くさつキャンパスならではの人文社会科学系研究所として地域とともに、学際的視座からよりよい社会の在り方を追求する

社会システム研究所は、広く社会システムに関する研究調査を行い、学術文化の向上に寄与することを目的として、1998年、経済学部・経営学部のびわこ・くさつキャンパス（BKC）への移転を機に設置されました。本研究所では設置当初より、人文社会科学分野における総合的な共同研究の実践を重視しており、BKCのキャンパスコンセプトであった「文理融合」の理念とともに、学際的な研究を推進してきました。このため研究テーマはいわゆる狭義の社会システム論あるいは理論・政策・歴史という古典的範疇に留まらず、政治・経済・文化・地域・福祉・健康など広範な研究課題を扱っているのが特徴です。

当初は経済学部・経営学部と理工学部間の連携がメインでしたが、学部の新設や移転等により、現在では経済学部・食マネジメント学部・スポーツ健康科学部の教員を中心に他キャンパスや学外の研究者も参画する組織となりました。

2020年以降、コロナ禍で経済活動の在り方が見直されており、地域における取り組みが注目されるなど、社会の在り方は大きな転換期を迎えています。社会システム研究所はBKCにおける唯一の人文社会科学系の研究所として、文系的基盤を下支えせんという意気込みのもと、旺盛な活動を進めていきます。

研究所の活動

本研究所の活動の柱は、①学内公募形式のプロジェクト研究、②紀要『社会システム研究』の発行、③シンポジウムや研究会の開催、の三つです。

プロジェクト研究は、研究所を牽引するような特色ある研究を育てるべく学内公募形式で実施しています。研究者が自主的にプロジェクトを立ち上げ、研究所の目的に沿った基礎研究や社会のニーズに立脚した応用研究を行っており、これまでに多くの成果が生み出されてきました。

紀要『社会システム研究』は1999年3月に創刊され、これまでに200本近い査読論文、そして多くの査読研究ノートや調査報告等を世に送り出してきました。厳格な査読制度を導入しており、学内外の研究者から幅広く投稿論文を集める雑誌として認知されています。2025年3月で通算50号となり、益々の発展が期待されます。

シンポジウムや研究会は、研究成果発信および学内外との意見交換の場として定期的に実施しています。シンポジウムではこれまで実証研究、優れて現代的な話題、そして学界における主題や地域課題などについて議論してきました。シンポジウムは原則、公開実施としており、教職員や大学院生のみならず広く学部生や市民の方々も参加可能です。研究会においても若手研究者を正式メンバーとして迎え入れるなど、社会的課題を取り扱う研究所として、常にオープンなアカデミズムを大切にしています。

これらの活動は非常勤の研究者や大学院生の研究活動を支える役割も担っており、新進研究者のキャリアパスに対する貢献も研究所の役割の一つと考えています。

研究プロジェクト テーマの例

- 地域史に投影される国際的諸要素の研究 ―近江兄弟社の事例を中心に
- 新型コロナ等の自然災害が及ぼす影響に関する国際地域経済の数量分析
- 再生可能エネルギーへの投資・消費行動に関する実験・実証研究
- 新たな国内国際経済環境下の日中経済協力 ―中国東北を中心にして―
- デジタル化と産業構造の変化に対応した法制・税会計制度の現状と課題
- 近代ウィーン社会における文化芸術の社会経済史

紀要「社会システム研究」査読論文の例

- 公立病院の社会資本ガバナンスの課題―設備投資，社会サービスの決定メカニズムを軸にして―
- 商業・観光政策の変遷と中心市街地の観光マーケティングに関する一考察
- 滋賀県内外地域間におけるコロナ禍の家計消費支出変化の影響分析
- 植民地台湾における「明治維新」認識
- Stare or Steer? The Role of Digital Governance and Financial Inclusion in the Remittance-Poverty-Income Inequality Nexus in Developing Countries
- 戰時的越境移動與北京的城市文娛生活（1940-1943）：以楊英風與董毅兩人的日記為中心

シンポジウム・セミナー テーマの例

- 文化的資産の「負債化」を防ぐために―近江八幡の事例にどう向き合うか―
- 地域づくりのビジョンと行動―医療と介護をめぐる住民・事業者・行政の役割を考える―
- パンデミックで見えてくる社会と〈私〉
- 人づくりと地域づくり、当事者としての大学の役割を考える
- 地域再生と再生可能エネルギー ―「福島」が問いかけるもの―

研究所長：金丸 裕一（経済学部 教授）
主な研究拠点：びわこ・くさつキャンパス
お問い合わせ：立命館大学 研究部 BKCリサーチオフィス TEL：077-561-3945 FAX：077-561-3955 ✉：social-s@st.ritsumei.ac.jp
http://www.ritsumei.ac.jp/research/center/iss/